米-	子工業高等	<del>5</del> 号门子仪	開講年度 令和06年度(			工学基礎演習		
科目基	礎情報							
科目番号		0003		科目区分	専門 / 必何			
授業形態		演習	TN /1461.E.S /	単位の種別と単位数		1		
開設学科 開設期	}	総合上字   後期	科(機械システムコース)	対象学年	1			
<u>用設期</u> 教科書/教	─────────────────────────────────────			週時間数	2			
担当教員			フィでである。 ],権田 岳,藤田 剛,権田 英功,浅倉 邦彦	まれい きょうかい ままだい ままだい おくだい まんしょう ちゅうしょう ボスタ おおい おおい まんしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう	 : 井 ト 学 林 侑	輝 藤井 雄三 前原 勝樹		
<u></u>		ппп же		7,7033 石圆,1 田 亲工	-// III J /// III.			
1.機械 2.電気 3.情報 4.化学 5.建築	はシステム系(、電子系の) は、電子系の はシステム系 な・バイオ系( ほデザイン系)	の演習に取り の演習に取り	組み,理解することができる。 み,理解することができる。 組み,理解することができる。 組み,理解することができる。 組み,理解することができる。					
<u>ルーブ</u>	リック			I=		T		
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル		未到達レベルの目安		
評価項目1			機械システム系の演習に取り組み  ,理解することができる。	機械システム系の演		機械システム系の演習に取り組むことができない。		
評価項目2			電気・電子系の演習に取り組み、理解することができる。	電気・電子系の演習とができる。		電気・電子系の演習に取り組むことができない。		
評価項目3			情報システム系の演習に取り組み、理解することができる。	情報システム系の演奏を表現している。	きる。	情報システム系の演習に取り組むことができない。		
			化学・バイオ系の演習に取り組み ,理解することができる。	化学・バイオ系の演 ことができる。		化学・バイオ系の演習に取り組む ことができない。		
評価項目5			建築デザイン系の演習に取り組み , 理解することができる。	建築デザイン系の演   ことができる。	習に取り組む	建築デザイン系の演習に取り組む ことができない。		
		項目との関	係					
	育到達度目	標 A						
教育方	法等							
			学力を養うとともに、数理的な基礎を つの演習(タコースの演習)を3週間					
授業の進	動方・方法	下記の5 演習1 演習2 演習3	つの演習(各コースの演習)を3週9 :機械系の力学・設計などで用いる9 :電気の単位、図記号、電子部品、フ	ご学ぶ。  「つの輪回形式で行う。 は位の換算や計算。べん しんの法則の演習、P	7トルの加減算i C組み立て、LE レターネットな	<i> </i> -		
	動方・方法	下記第2 の2 演選2 演選3 演選3 演選3 なお, なお,	つの演習(各コースの演習)を3週ず :機械系の力学・設計などで用いる単 :電気の単位、図記号、電子部品、ス	学ぶ。 「つの輪回形式で行う。 「つの輪回形式で行う。 単位の換算や計算, べかがから では でいま 関 でから でいま	7トルの加減算 C組み立て、LE クターネットなけ算など (質など)の復習と) 受業中に周知す	<i> </i> -		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の	属性・履修	下記の5 演習1 演習3 演習3 演選3 演選3 後 演習5 な を 演習 を 変 を 変 変 変 変 変 変 変 の 変 の 変 の で の で の で の で の	つの演習(各コースの演習)を3週9:機械系の力学・設計などで用いる単:電気の単位、図記号,電子部品,元:コンピュータの構成とオペレーティ:温度,質量,体積、密度,圧力など、言簡単な幾何学(三角形の相似,合同間は各担当教員が受け付ける、(受付20点満点で小テストにて評価し,その	学ぶ。 一つの輪回形式で行う。 他の換算や計算, べかから ではの換算を計算, べかから では できる	7トルの加減算 C組み立て、LE クターネットなけ算など (質など)の復習と) 受業中に周知す	と		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の		下記の5 演習1 演習3 演習3 演選3 演選3 後 演習5 な を 演習 を 変 を 変 変 変 変 変 変 変 の 変 の 変 の で の で の で の で の	つの演習(各コースの演習)を3週9:機械系のカ学・設計などで用いる頃:機械系のカ学・設計などで用いる頃:電気の単位,図記号,電子部品,7:コンピュータの構成とオペレーティ:温度,質量,体積,密度,圧力など:簡単な幾何学(三角形の相似,合同問は各担当教員が受け付ける。(受付20点満点で小テストにて評価し,その	学ぶ。 「つの輪回形式で行う。 「つの輪回形式で行う。 単位の換算や計算, べかがから では でいま 関 でから でいま	7トルの加減算 C組み立て、LE クターネットなけ算など (質など)の復習と) 受業中に周知す	<i> </i> -		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の □ アク:	属性・履作 ティブラー <u>:</u>	下記の5 演習1 演習3 演習3 演選3 演選3 後 演習5 な を 演習 を な を 変 変 変 変 変 の 変 の 変 の の で の で の で の で の の の の	つの演習(各コースの演習)を3週9:機械系の力学・設計などで用いる単:電気の単位、図記号,電子部品,元:コンピュータの構成とオペレーティ:温度,質量,体積、密度,圧力など、言簡単な幾何学(三角形の相似,合同間は各担当教員が受け付ける、(受付20点満点で小テストにて評価し,その	学ぶ。 一つの輪回形式で行う。 他の換算や計算, べかから ではの換算を計算, べかから では できる	7トルの加減算 C組み立て、LE クターネットなけ算など (質など)の復習と) 受業中に周知す	と		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の	属性・履作 ティブラー <u>:</u>	下記の51 海習2 海湾3 海湾3 海湾3 海湾3 海湾3 海湾3 海湾 を を 上の区分	つの演習(各コースの演習)を3週9:機械系の力学・設計などで用いる単:電気の単位、図記号,電子部品,元:コンピュータの構成とオペレーティ:温度,質量,体積、密度,圧力など、言簡単な幾何学(三角形の相似,合同間は各担当教員が受け付ける、(受付20点満点で小テストにて評価し,その	学ぶ。 「つの輪回形式で行う。 位の換算や計算, べかけっして、   の法則の声は、   のが表別の方は、   の単位換算, 濃度の語の単位換算, 濃度の語の。   にの単位換算, 濃度の語の。   にの単位換算, 濃度の語の。   にの単位換算が、   にのいては、   がな計を当該科目の評例  「図」遠隔授業対応	7トルの加減算 C組み立て、LE クターネットなけ算など (質など)の復習と) 受業中に周知す	ど 応用(演習) る。) ☑ 実務経験のある教員による授業		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の □ アク:	属性・履作 ティブラー <u>:</u>	下記の51 海習2 海湾3 海湾3 海湾3 海湾3 海湾3 海湾3 海湾 を を 上の区分	つの演習(各コースの演習)を3週9:機械系のカ学・設計などで用いる単: 機械系のカ学・設計などで用いる単: 電気の単位, 図記号, 電子部品, ラ: コンピュータの構成とオペレーティ: 温度, 質量, 体積, 密度, 圧力など: 簡単な幾何学(三角形の相似, 合同間は各担当教員が受け付ける。(受付20点満点で小テストにて評価し, その	学ぶ。 一つの輪回形式で行う。 2位の換算や計算の換算や計算とで行う。 2位の換算を計算を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	アトルの立てトレのカーストルの立てトレのカーストルの立てトトラースを受賞している。 「大学」では、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ど 応用(演習) る。) ☑ 実務経験のある教員による授業		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の □ アク:	属性・履作 ティブラーニ	下記の5	つの演習(各コースの演習)を3週雪:機械系の力学・設計などで用いる場:電気の単位、図記号,電子ポレーティとは、13度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、密度、体情、容易、体制、自身、体制、体制、自身、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、体制、	学ぶ。 「つの輪回形式で行う。」 「つの輪回形式で行う。」 「つの輪回形式で行う。」 「かくりではの換算や計算は、度理がいるが、方では、対したりを対すがです。」 「はいっとはないでは、対した。」 「はいっとは、対した。」 「はいっとは、対したは、対したは、対したは、対したは、対したは、対したは、対したは、対した	アトルのかな、気は、というとは、気は、という一を担かる。 アトルのカーネどのでは、というでは、できます。 では、というでは、というでは、できます。 では、これでは、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	を		
授業の進 注意点 <u>授業の</u> 口 アク・ 授業計	属性・履作 ティブラー <u>:</u>	下記の5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	つの演習(各コースの演習)を3週雪:機械系のカ学・設計などで用いる場:電気の単位,図記号,電子レーティとは、1 回り は 1 に で	学ぶ。 「つの輪回形式で行う。」 「つの輪回形式算算の性性を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	アトルの立ていた。 アト組みでは、 にターネどのには、 は受難点とする。 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、	を		
授業の進注意点 授業の □ アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	下記の5 1 1 2 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	つの演習(各コースの演習)を3週9:機械系の力学・設計などで用いる場:電気の単位、図記号、電子部品、スコータの構成とオペレーティと、	学ぶ。 「つの輪回形式 500	アト組みでは、 には、 に対するとのでは、 に対するとのでは、 に対するとのでは、 でが、 に対する。 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、	を		
授業の進注意点 授業の □ アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	下記の5 下記の3 下記第3 第3 第4 各の を上グ 過 1週 1週 2週 3週	つの演習(各コースの演習)を3週雪:機械系の力学・設計などで用いる場:電気の単位,図記号,電子レーティとは、13度 (14年 ) (19年	学ぶ。 「つの検算」ででは、アンドンの検算を当該を対して、アンドンのでは、アンでは、アンでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンドンのでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは、アンでは	アト組みでは、 には、 には、 にないとのでは、 にないとのでは、 にないとのでは、 では、 にないとのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	を		
授業の進注意点 授業の □ アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	下記の5 下記の3 下記第2 第2 3 3 3 3 3 3 3 4 3 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	つの演習(各コースの演習)を3週雪:機械系のカ学・設計などで用いる。当時で開いる。1 機械系の力学・設計などで用いる。2 に間を対して対している。1 に関いては、1 に関いないは、1 に関	学ぶ。 「つの検知」 「つの検知」 「つの検知」 「つのが、アンの特別では、アンのでは、アン	アトルの立て と	を		
授業の進注意点 授業の □ アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	下記の5 1 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	での演習(各コースの演習)を開いる。 では (各コースの演習)を開いる。 では (名 コースの演習)を開いる。 では (名 コースの演習)を関いる。 では (名 ア のでは では でから では でから では (名 でから では でから では でから では (名 でから でがら でから でから でから でから でから でから でから でから でから でか	学ぶ。	アト組みでは、 との で と	を		
授業の進 注意点 授業の □ アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	下記の5 1記の2 12 13 13 23 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	□の演習(各コースの演習)を3週3 3週3 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	学ぶ。	アト組みでは、 とう で	を		
授業の進 注意点 授 <b>業</b> の □ アク:	属性・履作 ティブラーニ	下記の5 12 33 4 3 8 2 3 3 3 4 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	□の演習(各コースの演習) を 3 週 3 週 3 週 3 3 週 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	学	アト組みでは、 とす で	を		

	11週	寅智(1組:演習4, ↓, 4組:演習2,	, 2組:演習5, 5 組:演習3)	3組:演習	同上							
	12週	寅習(1組:演習4, L, 4組:演習2,	, 2組:演習5, 5 15組:演習3)	3組:演習	同上							
	13週 潭	演習(1組:演習5, 2, 4組:演習3,	, 2組:演習1, ; 5組:演習4)	3組:演習	同上							
	14週	演習(1組:演習5, 2, 4組:演習3,	, 2組:演習1, 5 5組:演習4)	3組:演習	同上							
	15週 潭	寅習(1組:演習5, 2, 4組:演習3,	, 2組:演習1, 5組:演習4)	3組:演習	同上							
	16週											
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レ	ベル 授業週					
評価割合												
小	テスト	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計					
総合評価割合 10	0	0	0	0	0	0	100					
基礎的能力 10	0	0	0	0	0	0	100					
専門的能力 0		0	0	0	0	0	0					
分野横断的能力 0		0	0	0	0	0	0					